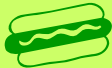


# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
ちゃんの「私、土の子」奮闘記

初物の真竹筍  
匂い嗅ぐハナ  
05.26撮影

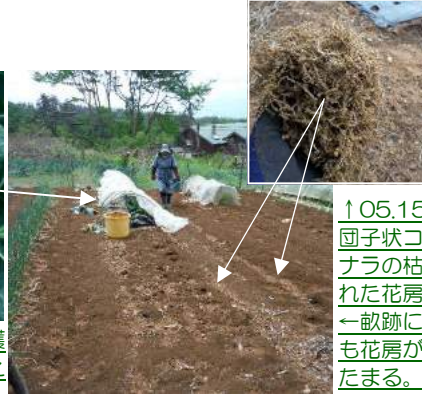


## 1 今は畑の転換期

今は畑の転換期、冬野菜を抜くなど片付けた区画を耕し、連作障害を避けるため狭い畑をパズルのように替え、夏野菜の種蒔き苗植えをしています。5月末には一段落、今は冬越しのエンドウ豆類が収穫時で、一日一回は絹サヤにスナップエンドウやグリーンピースの収穫で力は最大忙し。



最後の春キャベツを収穫して畑を耕す「冬越えて育ちアリガトウ」



↑05.15  
団子状コナラの枯れた花房  
←畝跡にも花房がたまる。

→05.15菜花の後は片付けて耕し ↓05.16フレームを立てパンダ豆を蒔く準備、力は隣に肥料を入れてマルチを張り、遅れていた島オクラの種を蒔いて一安心。



→05.16葉を食べる虫を殺しながら、ジャガイモ畝に追肥をまく。

↓今年のジャガイモ、茎や葉が小さく生育が心配

↑キャベツ後を耕す、真中に小さなキャベツ1個にネットをかけて残し、収穫後に手で耕す。



↑テントウムシが葉を食い荒らす



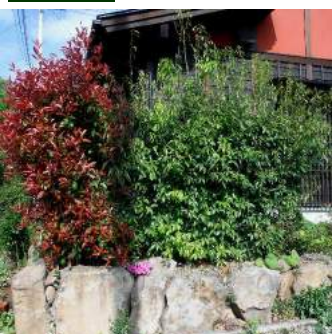
↑2回目のジャガイモ畝の土寄せは疲れる仕事。

## 2 「ナナミちゃんのお宿」は？

↓05.14毎年伸びる生垣、アカメカシとシラカシを一日がかりで剪定。脚立などに乗らず作業ができる様に低く刈り込む。→植木の高さもそろえて剪定。



←お宿屋号は「喜」の略字セが三つでナナミの洒落も



緑をながめ心穏やかになるには日々の手入れが肝心と、新芽が吹くこの時期に毎年行っている。生垣のアカメカシとシラカシは芽吹き旺盛で目隠しには向いているが、通風を良くしておかないと病気や害虫が発生、日々の手入れが肝心。

### 目次

1	今は畑の転換期	1
2	「ナナミちゃんのお宿」は？	1
3	エコハウス私論	2
4	雨水利用でエコ野菜-2	2
5	五月のお味	2
6	開墾畑の地図 7 庭畑の地図	3
8	畑の地図	4

### ハイライト

5月21～25日「蚕起食桑かいにおこってくわをはむ」蚕が桑の葉を盛んに食べ始める頃という意味。蚕は農家にとっては貴重な収入源で「お蚕様」と呼ばれ、牛馬と同じく1頭2頭数えられるなど、特別な扱いを受けてきた。明野にも当時の養蚕をしのばせる繭集荷場や、民家物置に平らで大きな蚕箔カゴなどを見かけます。

「エコハウス私論」小林 光著を読み、トトの本書要約や抜粋になりますが『第一章「親との同居、地球との同居」世田谷区にある借地に戦後建てた家に住む年老いた両親、訪れるごとに家族のサポートが必要と考える頃に、借地の地主さんから「借地権と一部の所有権の交換」の話が出された。老親との同居では日常向かい合い苦労させられる嫁さん、職場では同居したばかりに離婚となった夫婦の話が頭をよぎる。長男としての悩みが・・・その嫁さんが、あっさりと、「同居してもいいよ」といつてくれた。男気ならぬ女気も有ったのかもしれない。次の3続く



### 3 エコハウス私論

「ハイライト」から続く。長男の著者は当時、夫婦と育ち盛りの小学生二人で麻布の官舎住まい。「地球との同居」という言葉は筆者の造語で、『人間は、地球に住まわしてもらっているのに、その地球を壊しつつある。・・・この破壊の根っこには、ほかの生き物達と一緒にこの星の上で暮らしているといった感覚が、そもそも私たちに欠けているという問題がある。私達の意識に潜むこうした危うさを、直観的に理解してもらうためには、「人は地球に同居しているんですよ、そのことを忘れてはいませんか」と、この表現を使っていた。この考えに率直に姿や形を与える物が、エコハウス、つまり地球とちゃんと同居できる家である。』で、率先垂範しエコハウス建設をすることに。／続く

／基本方針は土地は親が出し、建物は著者がつくる。

1995年に地主より、親の実家の借地権と所有権の交換を打診される。1999年に地主と交換契約。同年に設計契約。同年9月工事着手し、2000年3月に6カ月かかったエコハウスが完成し、引越し。



↑ラフスイッチも煮詰まり、借地権と所有権の交換の契約や、その契約に従い、古家を解体し、土地を更地に戻し、境界を確定などは次号で。

1999年当時は住宅メーカーにエコハウスの考えは普及しておらず、相談したのがOMソーラー協会だった。太陽熱を上手に利用する仕組みの住宅を、商業ベースで広めようとする団体である。太陽熱利用を基軸としたエコハウスを全国各地で建てている。協会から建設地近くの工務店を紹介してもらい、紹介された工務店のモデルハウスも見学し、正式契約の前に敷地の形や広さに応じたラフスケッチを描いてもらい、地主との地型の交渉にも使うことにした。ラフスケッチを老親に見せ意見を聞き、間取りのスケッチを進めるなかで、家が狭い場合の留意点も明らかに、

- ①人によって台所を使う流儀が異なるため、台所は二つにすべき。
- ②老人世帯と若者世帯の間が遮音されていること、同居世帯に聞こえず、お互い気兼ねなく悪口や陰口が話せ、不満も溜まらない。
- ③洗面所やトイレは、朝のラッシュ時を考えると多い方が良い。老親室を確保し、トイレを置き、玄関を置いた上、さらに、玄関ドアを開けても車が置ける空間が必要なこともわかった。次号へ続く

### 4 雨水利用でエコ野菜-2

庭の畑は近くて便利ですが、夏の水遣りも一仕事、水道水ばかりに頼ってはられない。雨樋に手を加え貯水タンクへ取水し、少しでも節水に努めています。購入するタンク代を水道代に換算したら？とも考えましたが、長い目で見ればエコな生活を。



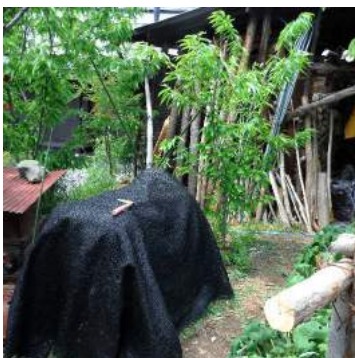
↑05.12梅雨入り前に、カカは日除けのヨシズ交換。トトは貯水タンクを動かし内部清掃。



↑05.12新置場兼車庫の雨樋交換3.6m↓屋根の積雪で変形したり壊れたり修理が必要に。



↑ヨシズ取替え完了。／370ℓ貯水タンクを据え付け直し、屋根三面から取水している雨樋も整備し、タンクに接続と遮光ネットで覆う。



↑貯水タンクは500ℓ、夏の野菜に大切な水源、真夏は足りなくなる。

### 5 五月のお味



「スナップエンドウのサラダ」茹でたスナップエンドウとサラダ菜、水煮した曙大豆の上に炒めたベーコンをのせてあります。

↓「ササゲご飯」ササゲ100gもち米2カップと米1カップで、豆にあう柔らかな食感です。



「スナップエンドウのサラダ」茹でたスナップエンドウとリーフレタス、新玉ネギのスライスに炒り卵を混ぜ合わせてあります。

野菜の旬はいつ時に、スナップエンドウの収穫もピークが来てから終わりも早い。飽きないように採れる野菜で、組み合わせをかえて食べ。ササゲも新豆の収穫を見越し、備蓄豆を自家消費、乾燥豆は貴重で重宝します。



# 6 開墾畑の地図 5月23日撮影

↑05.23林の開墾畑を撮影



↑キノコ原木は椎茸・平茸・キクラゲにナメコです。↓右端のナス区画から左側を撮影。木の陰で日当りは朝夕で変化します。



最下段に細長く↑インゲン種蒔く  
中段に↑カボチャ苗2本とオオヒラサヤ  
(モロッコインゲンより大きい)種蒔く  
↑ナス苗7本 ↑カボチャ苗3本  
を植え。  
・母屋裏や林に桜8  
種10本を植えてあり、栗3本と渋柿3  
本が大小色々。

↑キュウリ苗10本 ↑ナス苗9本

2015/7/6に母屋裏の林160坪を購入。桜やコナラを伐採し光を入れ、少しばかり畑にしました。時間により木々が日陰になりますが、新地で線虫などもおらず野菜苗には良いのですが、地力が無いので苗の生育を見ながら追肥をしています。



写真①



# 7 庭畑の地図

敷地の三方が雑木林に囲まれた標高600m程の高地にあり、果樹などが茂り母屋からは、道路は入り口だけが見通せる季節。カッコウなどの鳥や春セミが鳴き、オオムラサキなどの蝶やトンボも飛び、蛾やオオムカデとトカゲにへビもやって来る田舎の初夏。少しばかりの畑で野菜栽培。



写真⑥ ↑05.23母屋玄関先から入り口方向を撮る。赤松と雑木の混合林に囲まれ、お宿側には家が数軒。



↑果樹はスモモに栗やアンズ、小梅に梅とブルーベリー、キウイやイチジクなどを収穫してジャム作り、ブドウは野菜に追われて棚だけに。

写真② ↑ナナミちゃんのお宿前の畑、アスパラにトマト類、スイカ5本と長ネギ苗にズッキーニ8本植えた



写真③ ↑茶の生垣が囲む畑にオオヒラサヤ、キュウリ、ゴーヤ、万願寺唐辛子、ピーマン、落花生。ネットにはサラダ菜とフリーレタスやルッコラ。アスパラも少し。



↑05.23絹サヤの最盛期も過ぎ、来年の種採り用に少し残して抜き、マクワウリ苗を植えるように耕すが、降雨少なく土が固い。

写真④ ↓アヤメ咲く先に鳥除けネットに囲まれたブルーベリー20本。





# 8 畑の地図 5月24日撮影

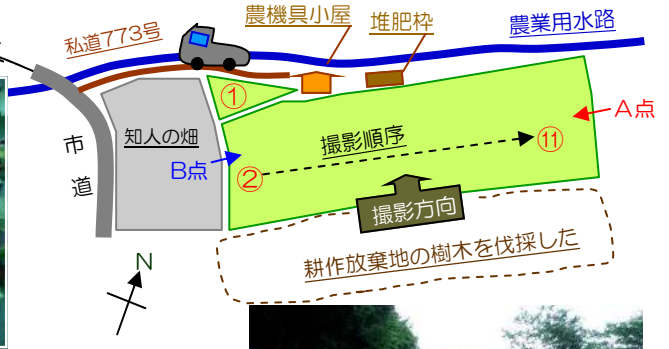
自宅から徒歩4

私道773号

農機具小屋

堆肥槽

農業用水路



① ↑道沿いに柿と栗が実る三角の区画。左から側からルパーブ、ニンニクとワケギにエシャレット (05.24収穫) 空豆やグリーンピースが見え、ネットには大葉ニラ。↓ニンニクは不作 ↓ワケギは種に

畑南側の耕作放棄地の樹木は、1月に伐採して日当たりは改善、西方向の眼下には中央高速の須玉方面と鳳凰三山や甲斐駒ヶ岳を望む眺望の良い畑。赤土の畑も15年以上使い続け、土も柔らかくなってきた。

